

【北海道湧別町】
校務DX計画

1人1台端末導入後、iCloud、デジタルドリル、学習eポータル等を活用してICT教育の推進に取り組んできました。

今後、本町において校務DXを推進するために「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果を踏まえて、次に掲げる事項に取り組んでいきます。

1. クラウドツールの活用

これまで iCloud や様々なアプリを活用して、授業における課題配布や授業改善を行ってききましたが、令和6年度より Google Workspace を導入して教職員間のデータやスケジュール共有など、校務の効率化に取り組んでいます。しかし、「保護者からの問い合わせや連絡」、「学校と教育委員会間の業務連絡」では、電話による連絡、書類の紙媒体での提出、会議資料の紙媒体の配布などクラウドツールの活用が進んでいないものが、いまだに多い状況であることから、早急に改善を進めていきます。

2. 校務支援システムのクラウド化

クラウド型の全道シェアの大きい校務支援システムを導入することにより、従来紙ベースで行っていた指導要録などの事務処理を電子上で行うことで、事務処理の効率化や教職員間の人事異動に伴う負担軽減を図っています。これをさらに有効活用するために、保護者連絡ツールと校務支援システムとの連携などを検討していきます。

3. FAX・押印等の見直し

災害やネットワークの不具合など電子メール等より FAX が効率的であるような緊急の場合を除き、FAX や押印の原則廃止に向けて、各関係機関等に対して見直しについての協力を求めています。

4. 情報教育セキュリティポリシーの策定

クラウド上のデータやクラウドサービスを積極的に活用していくためには、個人情報の保護や適切な教育データの管理をすることが重要でありますので、教育情報セキュリティポリシーを策定し、国の方向性や現状を的確に把握しながら、随時改正を行い運用していきます。